

理学療法かわら版

一般社団法人
山形県理学療法士会

目次

理事リレーコラム…………… 1	未来を担うフレッシューズ紹介…………… 6
第49回 日本理学療法学術大会 参加報告…………… 2	施設紹介…………… 9
理学療法週間体験感想文…………… 3	事務局・財務部より…………… 10
理学療法週間公開講座…………… 4	編集後記…………… 10



理事コラム

山形県理学療法士会 学術局長
山形医療技術専門学校

長 沼 誠

これまでの巻頭言(コラム)では、会長や副会長が執筆を担当しておりましたが、今回から理事のリレーによる執筆ということになり、僭越ではございますが今回は私が担当させていただきます。私は学術大会部の理事ですので、まずはお礼の挨拶から述べさせていただきます。

6月に山形テルサで行われました第23回山形県理学療法学術大会において、会員・非会員合わせて400名を超えるご参加をいただきました。これもひとえに、会員の皆様はもちろんのこと、企画・運営をしていただきました荒井大会長、福田準備委員長ならびに村山支部の先生方のご協力の賜物であると考えております。心より厚く御礼を申し上げます。今回の学術大会では、会員の皆様方に身近で参加しやすい学会の開催を目的に、担当支部の先生方の発案により、ポスターによる発表形式の導入やセミナーの開催など新たな取り組みがなされました。それにより、多くの演題登録やご参加をいただき、盛会裡に学会が開催されました。今後も学術大会が会員の皆様方のご活躍の一助になれるよう、担当支部の先生方と連携を図りながらより一層の充実を図りたいと考えております。

さて、今回の学術大会では「自己研鑽」をテーマに開催されました。そもそも研鑽とは「学問などを深く究めること」という意味があります。個々の理学療法士が理学療法を究めることは、対象者により良いサービスの提供が行えることはもちろんのこと、理学療法士間での相互研鑽という観点においても重要であると考えます。理学療法の領域は多岐にわたり、個々の専門性も求められておりますが、それぞれの領域を究めた理学療法士が、様々な領域を究めていくことも必要であると考えます。それこそが「理学療法のプロフェッ

ショナル」ではないでしょうか(自分は全くの未熟者ですが……)。

現在、2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムが推進されております。その構成要素のなかには「予防」があり、理学療法士はそれに対応するべく研鑽が必要となります。予防とは「疾病や災害が生じないように注意し、それを防ぐこと」という意味があります。そして予防医学とは、病気を未然に防ぐ学問というだけではなく、傷害の防止、寿命の延長、身体的・精神的健康の増進も予防医学の一環と考えられています。つまり病気の予防だけでなく、病気の進展を抑え遅らせることも、さらには、再発を防止することも予防であるとされています。同様に、最近よく耳にする介護予防も、要介護状態の発生をできる限り防ぐ(遅らせる)こと、そして要介護状態にあってもその悪化をできる限り防ぐこと、さらには軽減を目指すことと定義されています。しかしながら本来、理学療法は「身体に障害のある者に対し……」と定義されているように、障害の改善や悪化を防ぐという予防の考えは持ち合わせても、健康な方々を対象とし、健康の増進を図るという予防を考える機会は少なかったと思います。現在では様々な取り組みが行われ、予防という領域での理学療法士の役割も確立されつつあります。それに対応するべく我々は個々の研鑽に努める必要があると考えます。

我々は様々なニーズに対応した「理学療法のプロフェッショナル」になる必要があります。そのニーズの中には「長生き(健康)のプロフェッショナル」も含まれているのではないのでしょうか。

第49回 日本理学療法学会参加報告

●全国学会への参加を通して

山形県立保健医療大学
保健医療学部理学療法学科

中野渡達哉

私は、2014年5月30日～6月1日にかけて神奈川県横浜市で開催された、第49回日本理学療法学会で口述発表を行ってきました。今学会の規模は、1625題という採択演題数もさる事ながら、8000人を超える参加者が集まり、非常に活気に充ち溢れた学会であると感じました。学会期間中は、朝8時半から19時頃まで様々な内容が14の会場で同時に行われました。特に、大会のオープニングレクチャーでの、陸上競技400mハードル種目で日本記録保持者でありオリンピック選手でもあった為末大氏による講演「ハードルを超える」を聴講し、そのプロフェッショナルとしての経験や考え方には非常に感銘を受けました。

私が口述発表をしたセッションは「運動器セレクション(骨・関節2)」というもので、通常の口述発表よりも長い発表と質疑応答が行われるものです。私は「人工股関節全置換術後の機能的脚長差に対する運動療法または補高装具の効果—無作為化比較試験—(中野渡達哉、鈴嶋よしみ、高橋宏彰、永峯悠、阿部綾香、齋藤聡久、横山寛子、嶋原竜司、佐藤友梨香、鎌田宏之、出江紳一)」という題名で発表しました。人工股関節置換術(THA)後に股関節の拘縮や脊椎側弯などにより骨盤が側方傾斜し、機能的脚長差を呈する患者がいます。本研究では、ランダム化比較試験にて

THA後に機能的脚長差のある患者に対する特異的な運動療法と補高装具による治療的介入を実施し、機能的脚長差の改善に効果があったことを報告いたしました。会場では、同様の症例を経験したことのある聴衆の方とも議論することができました。

今回の学会で様々な研究発表を聴講して感じたことは、客観的な評価指標や多様な統計学的手法を活用する理学療法士が増え、研究の学術的水準がこの数年で確実に高くなっているということです。しかし一方で、得られた研究結果から理学療法アプローチのアイデアに直結するような臨床に即した研究はまだまだ少ないように思います。今学会での山形県理学療法士会会員の演者は少ないようでしたので、ぜひ次回の学会に向けて日々のクリニカル・クエスチョンをリサーチ・クエスチョンへ発展させ、全国学会での発表に挑戦してみてください。

●第49回 日本理学療法学会に参加して

山形医療技術専門学校
理学療法学科
高橋怜子

先日、パシフィコ横浜にて日本理学療法学会が開催されました。多くの方々が参加しており、会場では立ち見でも入りきれないほどの人が集まっているところもありました。私は、初日にポ

スター発表をさせていただきました。教育・管理理学療法領域での発表だったため、教育関係者からご意見をいただくことを予想していましたが、実際は臨床の先生方にも興味を持っていただき、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。全国学会ということで、普段なかなか接する機会のない地方の先生方とも話ができて、新しい考え方やこれから自分がすべきこと、やりたいことを改めて気付かされた3日間になりました。



理学療法週間

(理学療法体験感想文)

2年生 女子

*体験に参加してみて、理学療法とはどんなものなのかより深くわかりました。説明をお聞きして、理学療法は怪我の治療だけでなく様々な分野で活動しているんだなあと思いました。杖の使い方や車いすの乗り方など、普段できない体験ができてよかったです。患者さんと接している姿がとてもカッコいいなあと思いました。リハビリをしている所は、もっと暗い感じなのかと思ったけれど、明るい声飛びかっけていていいなあと思いました。

2年生 女子

*あいまいだった理学療法士の仕事がよくわかりました。いつもは体験できない器具を使ってみたり、実際に理学療法士が働いている姿、様子を見ることができてよかったです。働いている皆さんは本当に元気でやりがいのある仕事だろうなあと感じました。

1年生 男子

*僕はまだ1年生で進路も迷っています。調理師と理学療法士、どちらをやっていこうか迷っています。なぜこの2つかというと、食べて喜んでいる顔、完食して喜んでいる顔、このような笑顔が見たいからです。どちらについても笑顔になってもらえるような人になりたいです。

3年生 女子

*理学療法とはどんな仕事なのかということに改めて詳しく知ることができてとてもよかったです。生涯にわたって関わる仕事だということに驚きました。治療の方法や杖の使い方だけでもそれぞれの患者さんに合わせて考えている所がすごいなあと思いました。理学療法士を目指したいという気持ちを固めるきっかけになったのでとてもよかったです。

3年生 女子

*杖・車いすなどを使って体験してみて、麻痺のある人や、障害のある人の気持ちが知れました。また、理学療法士のこともよく知れてよかったです。さらに理学療法士になりたいと思いました。

3年生 女子

*将来、理学療法士か作業療法士になりたいと思っているので、夢を実現できるように勉強を頑張りたいと思いました。

3年生 女子

*お年寄りだけでなく、障害児にもやることを知り、理学療法士のことについて初めて知ることがたくさんありました。補助する用具を使うことができていい体験になりました。

2年生 女子

*理学療法士がどのような場所で、どのように活躍しているのかを聞くことができてよかったです。「リハビリ」と一言きても、患者さんに応じた様々な対応でいても、患者さんに応じた様々な対応をしているのがすごいと思いました。とても和やかな雰囲気だったので印象的でした。

3年生 男子

*理学療法を施す対象者が老人の人々だけでなく、障害を持った児童やスポーツ等で怪我した人たちも理学療法の技術が応用されていていいと思いました。一人の患者に一人の理学療法士がマンツーマンで施していて親身になっていて、優しい心を持っている人が多いんだなあと思いました。

理学療法週間公開講座

一般社団法人山形県理学療法士会主催 「理学療法週間公開講座 介護予防と理学療法～生き甲斐のある生活の方法を私たちが提案します～」を開催しました。

テーマ：介護予防と理学療法～生き甲斐のある生活の方法を私たちが提案します～

内容：講演

1. 「介護予防の効果的な取り組み」 山形県理学療法士会会長 高橋俊章
 2. 「介護予防のための運動の提案」 介護老人保健施設ラ・フォーレ天童 佐藤啓壽
- 体力チェックおよび相談コーナー

日時：平成26年7月13日（日）10:00～12:00

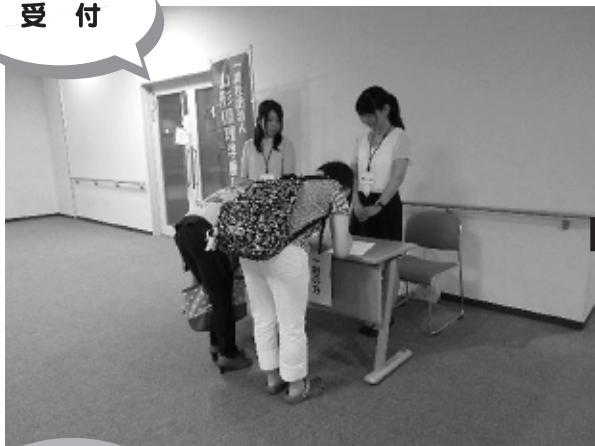
会場：山形市保健センター視聴覚室 霞城セントラル3階

参加者数は59名

公益事業推進部と広報部の合同開催で公開講座を行い、活動内容は運營業務、会場設営、体力チェック、受付などでした。

講演前は、希望者に体力チェックを実施しました。参加者の方々は、スタッフの協力のもと一生懸命取り組んでいただいております。

受付



体力チェック
・起立
・片脚立位
・握力

高橋会長
挨拶



高橋会長から「介護予防の効果的な取り組み」をテーマに何をどう予防すればよいのかという視点から講演をしていただきました。参加した方々は真剣な眼差しで聞いておりました。講演の中で日々の身

体の変化に目をむけることが自分に合った予防の運動を見つけるきっかけになること、そして老年症候群を予防する鍵になることを具体的に話しされていました。

パンフレットに沿って
詳しく
ご講演頂きました



佐藤先生からは、「介護予防のための運動の提案」をテーマに実技を中心に行ってくださいました。実技は、ストレッチの方法と効果について一つ一つ丁寧に教えていただきました。参加した方々は真剣に、また時には笑いながら楽しく取り組めたのではないかと思います。最後に、運動は皆の生活を維持する糧となり、身体を知ることは大事なことと運動の大切さについて話していただきました。



スタッフ
協力のもと
実技開始

限られた時間ですが
様々なストレッチを
おこないました！



リハビリ相談コーナーでは参加者の方々が悩みや、アドバイスを受けられる良い機会となったように思います。



2014年7月13日 広報部
三友堂リハビリテーションセンター 武田 綾

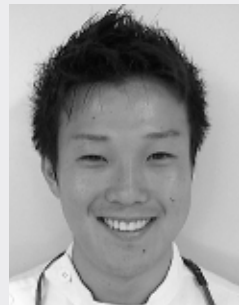
フレッシュャーズ紹介 内容

①勤務先 ②経験年数 ③出身地 ④出身校 ⑤趣味・特技 ⑥コメント



大場 美紀

- ①新庄徳洲会病院
- ②1年目
- ③新庄市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤スポーツ観戦、空手
- ⑥患者様・地域の方々が笑顔になれるようなリハビリを提供し、地元へ貢献出来るよう笑顔で元気に頑張ります！



菅 高邑

- ①山形ロイヤル病院
- ②1年目
- ③最上町
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤釣り・ランニング・バスケットボール
- ⑥患者様の笑顔を少しでも多く引き出せる様な理学療法士になれるように頑張ります。



渡邊 雅也

- ①さとう整形外科クリニック
- ②1年目
- ③新潟県
- ④新潟医療福祉大学
- ⑤体をたくさん動かすこと、ジブリ鑑賞、ボールペン字講座
- ⑥庄内弁に戸惑う日々が続いていますが、患者さん一人一人に最良のリハビリを提供できるよう日々、精進していきたいです。もっけだ どもよろしくのおー！



日下部 美咲

- ①さとう整形外科クリニック
- ②1年目
- ③庄内町
- ④新潟医療福祉大学
- ⑤スポーツ観戦、雑貨収集
- ⑥患者さん一人一人との出会いを大切に、初心を忘れずに日々成長できるよう頑張ります。



佐藤 辰彦

- ①酒田医療センター
- ②1年目
- ③鶴岡市
- ④秋田大学
- ⑤バスケットボール
- ⑥自分に自信がもてるように努力します。



渡部 眞美

- ①酒田医療センター
- ②1年目
- ③鶴岡市
- ④高崎健康福祉大学
- ⑤(これから)身体をきたえる
- ⑥患者様に笑顔になってもらえるように努力します。



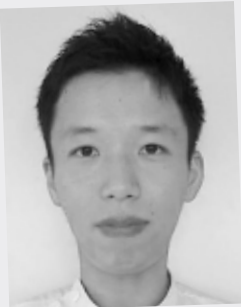
石澤 誠

- ①鶴岡協立リハビリテーション病院
- ②1年目
- ③天童市
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤将棋、野球
- ⑥一日も早く業務に慣れ、様々なことに興味を持って日々学習していきたいと思えます。



渡辺 智也

- ①鶴岡協立リハビリテーション病院
- ②1年目
- ③新潟県村上市
- ④新潟医療福祉大学
- ⑤バスケットボール
- ⑥患者様に寄り添い、地域に貢献できる理学療法士を目指します。



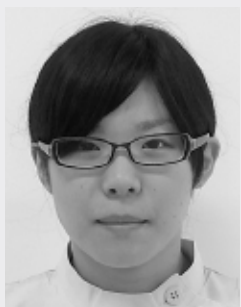
森 和浩

- ① 荘内病院
- ② 1年目
- ③ 鶴岡市
- ④ 金沢大学
- ⑤ 散歩
- ⑥ よろしくお願ひします。



長谷川 賢

- ① 鶴岡協立病院
- ② 1年目
- ③ 山形県鶴岡市
- ④ 山形県立保健医療大学
- ⑤ 釣り、バドミントン
- ⑥ 関わる患者様が少しでもよくなるように理学療法を提供していきます。よろしくお願ひ致します。



三塚友理恵

- ① 国立病院機構山形病院
- ② 1年目
- ③ 宮城県栗原市
- ④ 群馬パース大学
- ⑤ 音楽鑑賞、サイクリング
- ⑥ まだまだ至らない部分が多いですが、常に笑顔を絶やさず、患者様との信頼関係を大切にしていきたいです。よろしくお願ひします。



板垣早紀

- ① 至誠堂総合病院
- ② 1年目
- ③ 山辺町
- ④ 東北文化学園大学
- ⑤ ピアノ、高校野球観戦
- ⑥ 社会人として人間性を磨き、患者様に信頼され親しまれるPTになれるよう頑張ります。



高澤賢二

- ① 篠田総合病院
- ② 1年目
- ③ 河北町
- ④ 仙台医健専門学校
- ⑤ サッカー観戦
- ⑥ 患者様に信頼されるPTを目指し、日々学ぶ姿勢を持って頑張ります。



高橋裕香

- ① 矢吹病院
- ② 1年目
- ③ 村山市
- ④ 山形県立保健医療大学
- ⑤ 音楽・水泳
- ⑥ 一つ一つの積み重ねを大切にして頑張ります。



森谷知沙

- ① 公立置賜南陽病院
- ② 1年目
- ③ 米沢市
- ④ 東北文化学園大学（仙台）
- ⑤ 趣味は音楽鑑賞、特技はSAX演奏です。
- ⑥ 一日一日を大切に、自己研鑽に努めていきたいと思ひます。



中川裕介

- ① 国立米沢病院
- ② 1年目
- ③ 北海道札幌市
- ④ 札幌医学医術福祉歯科専門学校
- ⑤ ドライブ
- ⑥ 一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひ致します。

思いやりリハビリ・まごころケア

(有) 福祉用品やまがた

介護用品ショールーム

〒998-0842 山形県酒田市亀ヶ崎4-2-40
電話 (0234) **26-1725**
FAX (0234) **26-6780**

医療の未来を見つめる総合商社



岡崎医療株式会社

■本社 山形市あこや町三丁目4番3号
■山形営業所 〒990-0025 ☎023(代)623-0546番
■鶴岡営業所 鶴岡市大字安丹字村上4番10号
〒997-0057 ☎0235(代)22-0106番



佐々木美帆

- ①国立米沢病院
- ②1年目
- ③岩手県釜石市
- ④岩手リハビリテーション学院
- ⑤ボーリング
- ⑥明るく、元気に頑張りますのでよろしくお願ひします。



我妻真里

- ①三友堂リハビリテーションセンター
- ②1年目
- ③高島町
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤ソフトテニス
- ⑥患者様から多くのことを学び、いつも笑顔で頑張りたいと思います。



遠藤 広大

- ①三友堂リハビリテーションセンター
- ②1年目
- ③山形市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤水泳
- ⑥知識・技術を学び、患者様との信頼関係を大切にしてリハビリを行いたいです。



高橋 未樹

- ①三友堂病院
- ②1年目
- ③秋田県
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤音楽鑑賞
- ⑥患者様に信頼して頂けるような理学療法士になれるよう努力していきます。

安心と信頼

- ・前腕義手・股義足・下腿義足・骨格構造義肢・
(大型短断端を含む)
- ・腰・胸椎装具・靴型短下肢装具・歩行補助つえ・車イス・
(コルセット)

山形県指定一級義肢装具士 安達 武雄
 (有)安達ブレイス製作所 山形市江保3丁目15-1
 ☎(023) 681-0456

◆山形県厚生省労働省指定◆
W (有) 渡部義肢

◆営業品目◆
 義足・義手、コルセット、車椅子、ステッキ、下肢装具、上肢装具、骨格義足(モジュール)
 〒997-0861 山形県鶴岡市桜新町8番地52号
 TEL(0235)25-9366 FAX(0235)25-9364

福祉機器・介護用品販売レンタル/車いすオーダー制作

(有)アシスト

〒991-0048 山形県寒河江市みずき一丁目6-4
 TEL(0237)83-5525/FAX(0237)85-5454
 E-mail:assist@corp.email.ne.jp

山形県より、福祉用具販売・取付の推薦を
いただき、官公需適格組合証明を取得

協同組合 生活住環境整備山形

〒990-0805 山形市檀野前13-2
 TEL 023-681-5030 FAX 023-681-7609

明日への地域医療・高度医療に貢献する
一信頼される技術とサービスを人へ社会へ地域へ

ライフテクノロジーを追求する
株式会社シバインテック

本社 〒984-0015 仙台市若林区卸町二丁目11-3
 TEL 022(236)2311 (代表) FAX 022(236)2362
 ・山形支店・荘内営業所・鶴岡営業所・郡山営業所・ヘルスケアセンター・物流センター・メンテナンスセンター
 ホームページ: www.shibaintech.co.jp

医療機器・福祉用具販売レンタル
 TOTAL MEDICAL COMMUNICATION

株式会社 トーク

日医器連通正事業所 第9406017号 〒997-0806
 福祉用具貸与事業所 0670700434 山形県鶴岡市遠賀原字稲荷41-2
 E-mail:took@coral.ocn.ne.jp TEL (0235) 22-1009 FAX (0235) 25-8139

Supon 義肢・装具・車いす
 他整形医療器具製造・販売
(有)エムサポート

〒990-2212 山形市上柳110
 TEL(023)687-2800 FAX(023)687-2812
 取引銀行 山形銀行宮町支店(普通)0241881

福祉用具の製作・販売・レンタル

風の郷工房 (有)

東置賜郡高島町一本柳2535-1
 座位保持装置・車椅子 TEL 0238-52-1446 FAX 0238-52-1411
 電動車椅子・歩行器など URL: <http://www.kazenosato.co.jp/>

施設紹介

舟山病院

舟山病院は米沢市駅前にあり、病床数 192 床の一般病院です。スタッフはPT8 名で外来と訪問、入院のリハビリテーションを行っています。

米沢市がある置賜地方も高齢化が進み、生活習慣病や慢性疾患を有する患者様が多くなってきました。



Funayama Hospital



当病院では、脳血管障害・高血圧・糖尿病・慢性閉塞性肺疾患などの患者さんが多く、急性期から慢性期にいたるまでの診療を幅広く行なっています。リハビリテーション科でも、幅広い疾患の患者様に対して多職種と連携を取りながら、より良い在宅生活を目指してアプローチを行っています。

よろしくお願い致します！

鶴岡共立病院

当理学療法科は、鶴岡市にあるリハビリ専門病院で、理学療法士 41 名が在籍する部門です。私たちは急性期後の回復期に 365 日、日常生活動作へ直接アプローチし、難病疾患に対する長期支援も含め個々の利用者に対し社会復帰できるよう支援しています。その人らしさをサポートする自立支援、生活支援、健康増進、介護予防など様々な場面へ日々関わりを持っています。



最近では、復職・就学支援、退院後家庭での訪問リハビリにも力をいれています。私たちは、どんな病気でも「起きる」「立つ」「歩く」その先の希望をあきらめません。多くの利用者の方々が、日々回復し笑顔で社会に戻っています。

ぜひ皆さんも、私たち理学療法士を御活用ください。

■事務局より

●年会費の改定について

当会の年会費を現行の 7,000 円から 9,000 円に改定することが、平成 26 年度の定期総会にて承認されました。平成 27 年度より、年会費は、日本理学療法士協会の年会費 (11,000 円) と当会の年会費 (9,000 円) の計 20,000 円となります。ご承知の程、よろしくお願ひ申し上げます。

●日本理学療法士協会会員証について

会員の皆様のお手元には「日本理学療法士協会会員証」が届いていると思います。山形県理学療法士会や日本理学療法士協会主催の学術大会、研修会の受付に必ず必要になります。なお、紛失・破損等による再発行は、有料 (500 円) となりますので、ご注意下さい。再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

●楽天カードでの会費の納入をお願い致します。

日本理学療法士協会では、会費納入用クレジットカードとして「楽天カード」(年会費無料)を指定しております。会費の納入漏れがなくなり、手数料も無料です。

- ・楽天カードの主な特徴と機能
年会費無料。

会費 (初年度を除く) の自動引き落としが可能です。

書籍購入 (一部割引) 等が可能になります。

- ・申し込み方法

日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込みください。

楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続き後にお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください。

編集後記

「かわら版」「かわら版」第 9 巻が発行になりました。今年度の「かわら版」は 2 回の発行になります。今年度からの試みである公開講座の様子や学会発表の感想、理学療法週間の高校生の感想など、内容は盛りだくさんでお届けしたいと思います。

フレッシュアーズに関しては今年は 2 回に分けて新入会員全員を掲載していこうと思っておりますので期待ください。

なお、広報部では掲載原稿をお待ちしております。何か掲載してほしいものがございましたらお気軽にご連絡ください。HP への掲載も受け付けております。よろしくお願ひいたします。

三友堂リハビリテーションセンター

島 貴

●異動・休会・復会等の手続きについて

異動等会員データに変更があった場合は、日本理学療法士協会ホームページ内の「マイページ」よりログインしお手続きください。なお、書面による申請は、平成 25 年 12 月をもって廃止になりました。

厚生労働省
山形県指定
福祉法義肢製作所指定

YGK

有限会社 **山形義肢研究所**

営業品目
義手・義足・コルセット・補装具
補助ステッキ・松葉杖・車いす
整形医療器具

代表取締役 植松 茂夫
山形市飯田五丁目5番39号
電話 (023) 632-5214

山形小木医科器械株式会社

山形市北町三丁目8番20号
電話 (023) 681-3633 (代)

福祉用具開発・レンタル販売 <http://www.tamatsu.jp>



本社 山形県鶴岡市美咲町32-7(〒997-0857)
TEL 0235-23-6333/FAX 0235-25-3889

LCS オーダーメイドの福祉用具 株式会社 ライフケアサポート

山形県東根市温泉町1-13-10
TEL0237(43)6833 FAX0237(43)6832

質の高い福祉用具・レンタルサービスで 介護保険を応援します。

◎福祉用具レンタル ◎福祉用具販売 ◎住宅改修

オムニスグループ



株式会社 **歳王サプライズ**

事業本部：山形市北町2-6-6 TEL (023) 682-7631

医学書のことならお任せください

日本医書出版協会認定医学書専門店
医学書、看護学書、医書・一般

K 株式会社 **高陽堂書店**
KOYODO

山形市大町3-1-17 TEL: 823(631)8881 FAX: 823(632)1188
<http://www.koyodo.com/> email: info@koyodo.com

■発行/一般社団法人 山形県理学療法士会

■発行者/高橋 俊章

■編集者/田中 基隆

■広報部/三友堂リハビリテーションセンター

〒992-0057山形県米沢市成島町3丁目2番90号 TEL(0238)21-8100

FAX(0238)21-8119

E-mail: ptkouhoubu@yahoo.co.jp